



学校だより第6号

令和8年9月30日

発行

大阪市立大開小学校

「あきらめない心」を大切に！

秋分の日も過ぎ、秋の訪れを少しずつ感じるこの頃になってまいりました。とはいえ、まだまだ暑い日も多く熱中症には十分注意をしながら、運動会に向けて練習に取り組み始めました。10月24日当日は、保護者の皆様をはじめ、子どもたちを取りまく方々のお力をお借りして、子どもたちにとって充実した運動会となるよう進めてまいります。是非、子どもたち一人一人の頑張りに大きな声援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

9月19日から10月4日の日程で「第20回アジア競技大会（愛知・名古屋2026）」が32年ぶりに日本で開催されています。アジアの国や地域から多くのトップアスリートが集まり、熱戦を繰り広げています。その中の一人に池江璃花子選手がいます。ご存知のように、池江選手は、かつてのアジア大会で6つの金メダルを獲得し、誰もが認めるトップ選手でしたが、その後、白血病という病気になり、一時は引退も考えられました。けれども、池江選手は、つらい治療を乗り越え、私たちの想像をはるかに超える努力を重ねられて、再び世界の舞台へ帰ってこられました。今回のアジア大会でも、体調が万全ではない中、仲間とともに混合400mメドレーリレーで銀メダルを獲得しました。しかし、自分の思うような泳ぎができなかったときには、「みんなに申し訳ない」「すごく悔しい」と涙を浮かべる場面もありました。池江選手は、苦しい状況の中でも決して言い訳をせず、「次に向けてもっと練習を頑張りたい」と話していました。常に1番でいることだけが強さではなく、「うまくいかないときや苦しい時があっても決してあきらめずに挑戦を続けること」、それこそが本当の強さであると、池江選手の泳ぎを通して学んだように思います。

このアジア大会を通して、子どもたちは何を考え、どのようなことを感じてくれるでしょうか。勝利の喜びだけでなく、惜敗しても最後まであきらめずに走りきる姿、自己ベストを目指して努力を重ねる姿は、子どもたちにとって大きな刺激となることでしょう。スポーツは、基礎体力や筋力を高めるだけでなく、集中力や協調性、チャレンジ精神などを身につけることができます。また、仲間と協力し合ったり、思いやりやマナーを身につけたりする場面も多く、新しい技に挑戦する経験を通して、自信を深め、自分で考える力や行動力を養うことができます。

学校でも、日々の学習や運動、様々な行事等を通して、子どもたちが目標に向かって努力し、学級や学年、学校のみんなと協力し、挑戦することの大切さを学べるよう教育活動を進めてまいります。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。